

平成 28 年度 ふくしまっ子元気大賞表彰 応募票

学校名	学校長名	児童生徒数	学級数	学校所在地
郡山市赤木小学校	鈴木 久	262	13	郡山市赤木町7番41号

心もからだもほっかほか 気持ちよく運動する赤木の子どもたち

◆ 赤木小の体育の授業では・・・

① なかよし水泳学習をしています



1年生の初めての水泳学習では、6年生が1年生の水慣れを補助しています。1年生は、6年生との触れ合いや水遊びを通して、水への恐怖心が緩和され笑顔も見られるようになりました。

② タブレットを活用しています



体育の授業にタブレットを活用しています。例えば、跳び箱の開脚跳びでは、滞空時間の長い跳び方を習得するため、助走からの踏切、跳び箱への着手などを可視化して学び合っています。

③ 運動身体プログラムを活用しています



運動身体プログラムにある運動を毎時間行っています。リズム太鼓に、運動プログラムの内容がとり付けられており、運動のポイントを明確に伝えることができ、主運動につながる動きづくりも分かるようになってきました。

④ 専門家によるダンス授業をしています



郡山市のエキスパート事業を活用し、外部講師によるリズムダンスの授業を行っています。軽快なリズムに合わせてダンスを楽しんでいます。また学校のマスコットキャラクター「あかりん」の歌や「今月の歌」に合わせた振り付けも創作しました。

◆ 赤木小の体力づくりでは・・・

① 業間運動（ランランタイム）をしています



全校生で業間運動に取り組んでいます。特に走力と持久力を高めるために持久走に力を注いでいます。子どもたちの大好きな音楽に合わせて、自分のペースで5分間走り続け、走った距離をカードに記録しています。縄跳びや鉄棒、水泳などでもカードを活用しながら自分のめあてに向かって、もくもくと体力づくりに取り組んでいます。

② 意欲を高める環境が整備されています



運動意欲を高めるための環境が整備されています。手作りの表彰台やメダル、記録証などが準備され、各種運動記録会での大きな目標となっています。どの子も自己記録をめざし、または表彰台や金・銀・銅のメダルをめざし、水泳や陸上、縄跳びなどに熱中します。各種記録会では、多くの保護者の応援もあり一段と意欲も高まります。

③ 交流遊び（あかりんタイム）をしています



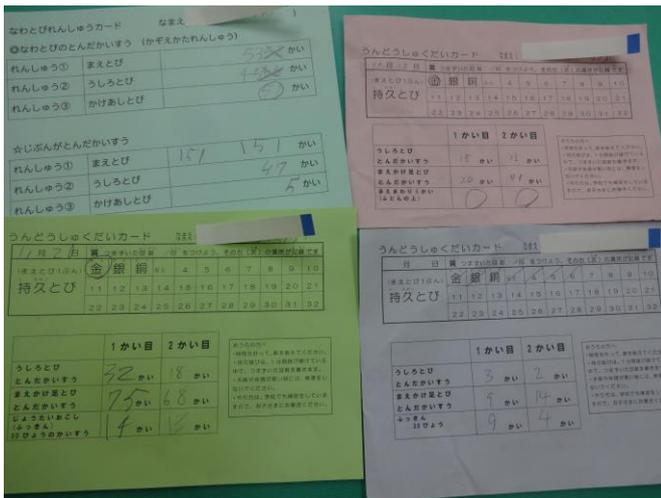
異学年交流の遊び（あかりんタイム）を通して、思い遣りや優しさを育てる活動を行っています。なかよし班での清掃の他に、児童会委員会が中心となり、毎回、遊ぶ内容を考えながら交流遊びを企画しています。とりわけ、体育委員会が企画する「赤リんタイム」では、全校鬼ごっこやボール運びゲームなどを楽しみ、体を動かしながら体力づくりに取り組んでいます。

④ 特設クラブで運動能力を高めています



朝の時間や放課後は、年間を通して特設クラブで運動能力や体力を高めています。走力を中心にいろいろな動きづくりに取り組んでいます。曜日ごとに練習メニューがかわるので楽しく運動できます。毎週、金曜日は100m走の記録を測定することになっています。夏は水泳に取り組み、4泳法を習得したり、泳力を高めたりしています。

⑤ 運動の日常化をめざしています



⑥ 体力総合プロジェクトに参加しています



赤木小では、運動の日常化をめざしています。新体力テストの結果をもとに、向上したい運動能力について「運動宿題カード」を作成して取り組んでいます。週末の家庭学習として取り組む学年もあり、家庭の協力を得ながら運動能力、体力の向上に取り組んでいます。

赤木小では、ふくしまっ子体力総合プロジェクトに参加しています。体力向上には「体幹」が重要であり、身体のバランスやリズムを意識しながら、体力向上に取り組んでいます。縄跳び運動をととして、腕と足の運動がタイミングよく、バランスよく、リズムよく運動できているかを測定し体力向上につなげています。

体力向上に向けた『学校自慢』

赤木小学校では、「体育は、知育と徳育の土台にある」との考えから「健康な身体づくり」を重点に運動能力や体力の向上に取り組んでいます。

研究テーマ「共に育つ学びの創造～学び合いから生まれるアクティブ・ラーニング～」も踏まえ、望ましい人間関係を構築しながら、運動することの楽しさ、目標が達成できた喜び、共に学ぶことの素晴らしさを実感させようと取り組んでいます。

これまでの取り組みから、子どもたちは、運動と出会うことにより目標をもって取り組むことができるようになってきたようです。

また、仲間との関わりにより自分の技術や能力をさらに磨き、高め、豊かにしようと努力するようになってきたようです。

さらに、仲間への感謝の気持ちを素直に表すことができるようになってきているようです。

そして、「教え合い、学び合い、助け合い」の3つの「あい」が随所に見られるようになってきました。

このような、子どもたちの学ぶ姿勢が少しずつ変容してきており嬉しさを感じています。

まさに、学びの対象とじっくり向き合い、自らの問いや目標を見出しながら、今まで育んできた資質や能力を仲間とともに磨き合い、高め合う子どもの姿が、体育の授業や体力づくり活動においても見られるようになってきているようです。

今後も継続して「心も身体もほっかほか、気持ちよく運動する子ども」を育てていきたいと思います。